令和７年度

県政調査チーム活動状況報告書

令 和 ８ 年 ３ 月

福井県議会 議会局

目　　次

１　県政調査チームの概要　・・・　１

２　令和７年度の取り組み　・・・　２

３　各チームの活動状況　・・・　３

総　務　教　育　・・・　３

厚　　生　・・・　12

産　　業　・・・　19

土　木　警　察　・・・　27

令和７年度の県政調査チームの活動状況

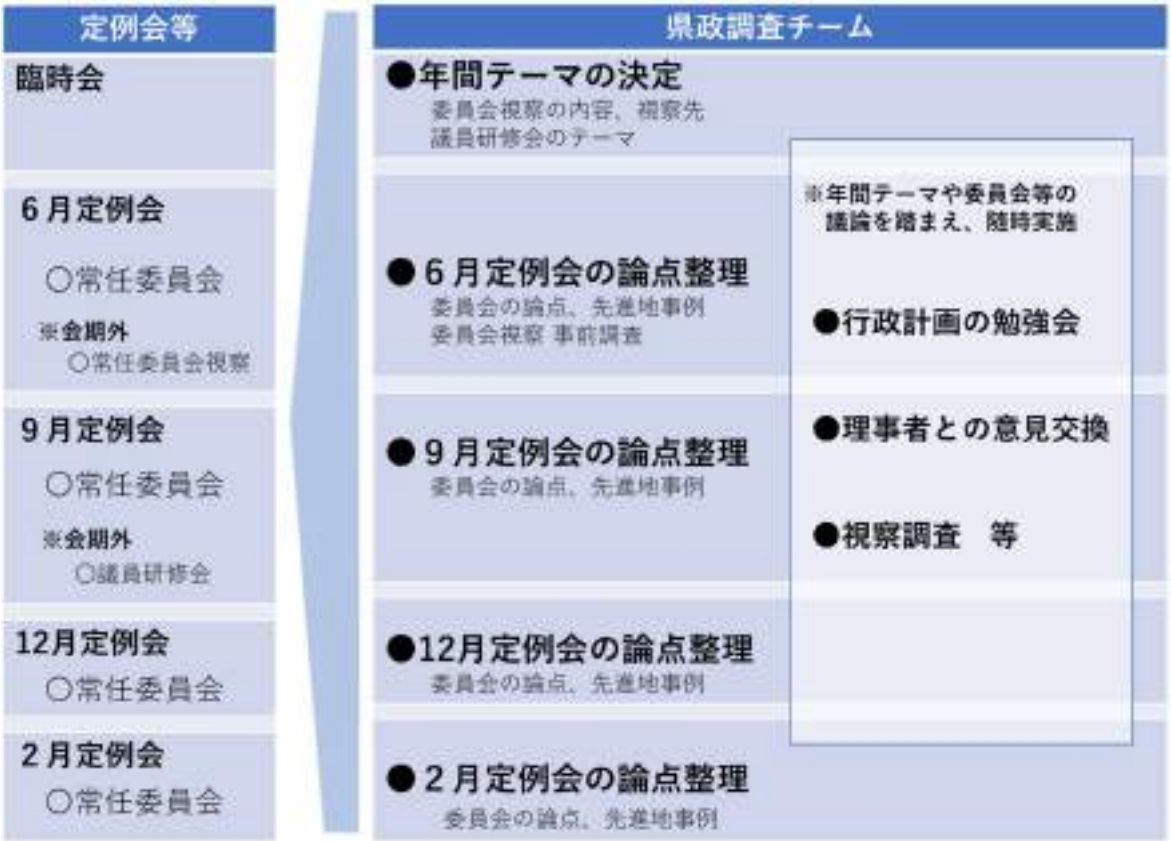
１　県政調査チームの概要

福井県議会では、４つの常任委員会ごとに、各会派から選出された議員および議会局職員で構成する「県政調査チーム」を設置している。

この県政調査チームでは、定例会ごとに、論点となる県政課題について調査するほか、委員会で議論される行政計画の勉強会や他県の先進事例の調査、委員会視察のための事前調査等を実施している。

調査した内容については、チームに所属しない常任委員会委員とも資料を共有し、委員会審議の充実等を図っている。

〈県政調査チームの活動〉



２　令和７年度の取り組み

５月に開催された臨時会において本年度の常任委員会の委員が選任された後、同日に各チームが第１回目の会議を開催した。年間を通じて継続的に調査を行う「年間テーマ」について協議、決定した後、それらの年間テーマや本年度改定予定の行政計画等を踏まえたチームの活動方針、委員会視察の内容、議員研修会のテーマ等について協議を行った。

定例会ごとに行う論点整理では、本会議や委員会において議論される主な県政課題について、県の動向や理事者の過去の答弁のほか、他県における先進事例等を調査し、委員会における提言や質疑すべき内容を検討した。

また、年間テーマに基づき、視察調査を行ったほか、地域公共交通に関する勉強会（総務教育）をはじめ、薬剤師の担い手確保および育成についての意見交換（厚生）など、適時各チームが必要な調査を実施した。

こういった取り組みは、各常任委員会での議論だけでなく、各会派の代表質問や議員の一般質問における質疑や提言、さらには議員連盟等における要望活動等に活かされている。

〈年間テーマと主な活動〉

○総務教育　「地域交通の維持」
「県立大学第４期中期計画の進捗」
「特色のある魅力的な学校づくり」
・８月２７日　地域鉄道の現状および課題に関する勉強会

○厚　　生　「原子力・エネルギー政策」
「子ども・子育て応援施策の推進」
・９月１８日　パパ・ママ目線の子育て支援に関する勉強会

○産　　業　「県内の観光誘客に向けた取組み」
「県内の経済振興」
「農林水産業の活力強化」
「人口減少対策〔社会減対策〕」
・９月１日　産業技術総合研究所および福井県工業技術センターとの勉強会

○土木警察　「国土強靭化対策」
「交通安全対策」
「詐欺対策」
・７月２４日　福井空港再整備に関する勉強会

３　各チームの活動状況

総 務 教 育

松崎雄城（リーダー）、西本恵一、北川博規、渡辺竜彦、中西昭雄、中村綾菜
議会局 議事調査課（和田、村尾、関、長谷川）

○令和７年５月１４日

第１回調査　「県政調査チームにおける年間テーマ選定」

〈年間テーマ〉

「地域交通の維持」

◇運転士不足の状況と新たな対策、今後のダイヤ改善の見込み

◇ハピラインふくい、えちぜん鉄道、福井鉄道の運営状況

「県立大学第４期中期計画の進捗」

◇地域政策学部（仮称）の R8.4 開学に向けた進捗状況

◇恐竜学部（勝山キャンパス）整備工事の進捗状況

「特色ある魅力的な学校づくり」

◇生徒に選ばれる県立高校づくりに向けた施策の方針

◇教育の魅力発信、働き方改革の推進等の具体化

〇令和７年６月１９日

第２回調査　「６月定例会常任委員会の論点整理」

・北陸新幹線敦賀以西の詳細ルート決定に向けた対応方針、人口減少対策、部活動の地域展開等について協議

・年間テーマである「地域交通の維持」について、運転手の担い手不足対策や私鉄各社における運営状況、利用促進策等について協議

〈 ６月定例会 常任委員会における主な議論 〉

（教育委員会）

・教職員の不足に関し、現状および嶺南採用枠など人材の確保策について確認するとともに、教職員におけるＤＸへの対応をよりサポートするよう要望

・児童生徒の教育環境について、いじめ調査専門委員会の運営体制、体育館への空調整備の導入方針や薬物教育の状況等を確認

（総務部）

・県立大学恐竜学部における勝山キャンパスの整備工事について、令和８年４月の供用開始に向けて適切に工事の進捗管理を行うよう要望

・改定予定の公共施設等総合管理計画について、ＣＯ２削減など環境に配慮することや県と市の二重行政の視点を考慮することを提案

・選択的週休３日制の実施状況やディレクターの業務体系について確認

（未来創造部）

・北陸新幹線敦賀以西について、ルート決定や財源に関する議論について確認するとともに、今後の事業推進に向けて論点を確認

・若狭湾プレミアムリゾート構想について、嶺南地域の観光客を増やす目玉事業として県を挙げて進めるよう要望

・ふく恋マッチングシステムの運用状況や早婚夫婦支援事業の実績等を確認

〈 総務教育常任委員会　県外視察（令和７年８月５日、６日） 〉

（長野県　株式会社マウスコンピューター）

・飯山市との包括連携協定を通じ、市内の小学校で利用するＰＣの提供やプログラミング教室の開催等により、官民が連携したＩＣＴ教育を進めている株式会社マウスコンピューターの視察を実施

・新幹線開業によりアクセスが向上したことで、大都市圏の企業との交流が活発になり、会社の一部部門を飯山市に移すことになったほか、子ども向けの体験教室についても利用者が増加したといった効果を確認



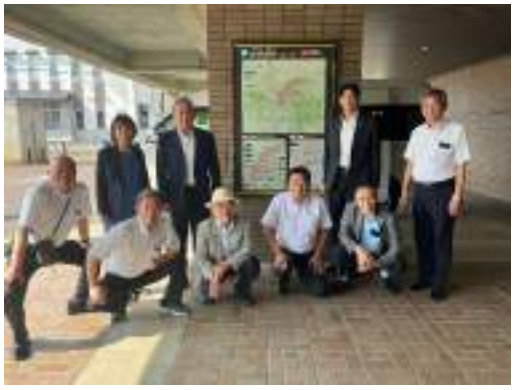


（株式会社マウスコンピューター　新幹線開業効果等に関する説明の様子）

（飯山市役所　長野県飯山市）

・飯山市は平成 27 年 3 月の新幹線開業から 10 年を迎え、首都圏等からの移住者数を伸ばしているほか、駅周辺における二次交通の充実を図る事業を展開していることから、施策の実施に関する工夫、課題や今後の検討事項等について現地調査を実施





（飯山市役所　移住・定住促進策や交通政策等に関する説明の様子）

（佐久市役所　長野県佐久市）

・佐久市は新幹線開業により向上した首都圏とのアクセスを活かし、新幹線通勤補助制度、空き家バンクやお住まいオーダーによるマッチング制度等の移住・定住促進策を積極的に展開していることから、具体的な取り組み状況や課題等について現地調査を実施





（佐久市役所　移住・定住促進策等に関する説明の様子）

〇令和７年８月２７日

第３回調査　「福井県内鉄道事業者の現状と課題」

・福井鉄道、えちぜん鉄道およびハピラインふくいの経営状況や課題等について、勉強会を実施

・各事業者が進める利用促進策や県の行政支援等について確認し、意見交換を実施



（福井県議会　鉄道事業者から経営状況等に関する説明の様子）

〇令和７年９月８日

第４回調査　「９月定例会常任委員会の論点整理」

・８月開催の勉強会を踏まえ、地域交通の維持、県立大学第４期中期計画の進捗、特色のある魅力的な学校づくり等について協議

・若狭湾プレミアムリゾート構想や人口減少対策等を協議

・県立高校の再編に向け検討している富山県の取組みについて情報提供



〈 ９月定例会 常任委員会における主な議論 〉

（教育委員会）

・教職員の人材確保に向けた環境整備、教職の魅力発信に関する取り組みのほか、産休、育休等の代替職員確保について確認

・いじめ対策のほか、いじめ２４時間相談窓口の運用状況について確認

・教員の働き方改革の観点からも、教職員の時間外在校等時間を正確に確認するよう要望

（総務部）

・県立大学地域政策学部における福井まちなかキャンパスの整備に向けた進捗況および市町や企業との連携について確認

・ガソリン暫定税率の廃止に向けて国が検討を進めていることを受け、地方公共団体に影響が出ないよう議論を進めるよう要望

・悩み相談など職員に対するメンタルケアの支援体制および年度途中の突発退職への対応を確認

（未来創造部）

・北陸新幹線敦賀以西の着工に向けて、ルートの再検証に関する動きと年末に向けた要請方針を確認

・若狭湾プレミアムリゾート構想について、再募集に向けたＰＲ手法等を確認

・人口減少対策に関連し、北陸新幹線を利用した学生通学モニター調査の結果の効果的な活用や、「ふく恋」のフォロー体制強化を要望

〈 総務教育常任委員会　県内視察（令和７年１１月１１日） 〉

（加賀市教育委員会）

・教師主導の一斉授業から子ども主体の授業への転換を図る学校教育ビジョン「BE THE PLAYER」を策定し、子どもたちが自ら学びに向かう主体的な姿勢を育んでいる加賀市教育委員会（加賀市立三谷小学校）を視察

・教育ビジョンの策定に至るまでの経緯について確認するとともに、教員側の意識を変えるために実施した取り組みや、子どもの変化について質疑



（加賀市立三谷小学校における意見交換）

（福井県立大学勝山キャンパス）

・福井県立大学では令和７年４月に日本初となる恐竜学部が開学し、１期生を迎え入れたところであり、１期生が２年次から学ぶ勝山キャンパスの建設現場を視察

・恐竜学部の教育方針や特色、学生の指導体制のほか、卒業後に想定される進路について説明を受けた後、県内で就職・活躍してもらうための仕掛けや研究室の構成等について質疑





（福井県立大学における意見交換、建設中の勝山キャンパスの視察）

〇令和７年１２月４日

第５回調査　「１２月定例会 常任委員会の論点整理」



・職員の各種不祥事に対する今後の対応、未然防止策について協議

・国における有識者会議の議論を踏まえ、部活動の地域展開に向けた課題を協議

・教職員による盗撮等のわいせつ事案を防ぐ茨城県の取組みのほか、予算策定にかかる経費節減策や国勢調査員の確保に向けた他自治体の取組みを情報提供

〈 １２月定例会 常任委員会における主な議論 〉

（教育委員会）

・部活動の地域展開の進捗と次年度以降の方針を確認

・ＵＩターンの推進と教員不足の解消に向け奨学金返還支援制度の拡大を要望

・今年度に実施した教員採用試験の結果と志願者を増やす取り組みを確認

（総務部）

・補正予算にかかる交付税措置の内容と本県の将来負担比率の状況を確認

・突発的な選挙に対する選挙執行経費の執行方法における考え方を確認

（未来創造部）

・若狭湾プレミアムリゾート構想における今後の展望や目標値を確認

・ＵＩターン推進のため、奨学金返還支援制度における対象業種の拡大を検討するよう要望

・自治体基幹業務システムの移行に関して運用経費の課題等を確認

〇令和８年３月４日

第６回調査 「２月定例会 常任委員会の論点整理」

・地域交通の維持、嶺南地域への誘客強化等を中心に協議

・学校現場における諸課題に対する具体化な解決方策について協議

・部活動の地域展開やカスタマーハラスメント対策に関する先進事例等を情報提供



〈 ２月定例会 常任委員会における主な議論 〉

（教育委員会）

・４月に県内で初開校となる県立夜間中学校の入学予定者数を確認

・学校業務改善計画案に関して、教員の充足状況や休職者数を確認

・学校給食に関する市町への支援状況を確認し、質を引き続き確保していくよう要望

・部活動の地域展開における学習指導要領への位置付けに関する国の議論状況を確認

（総務部）

・福井県庁長期インターンシップの成果と今後の拡充方針を確認

・県職員が受けたカスタマーハラスメントの実績および次年度に実施するカスタマーハラスメント対策を確認

・公共施設等総合管理計画の改定に関して、基金の造成や市町との連携強化について確認

・次年度から実施する大学３年生を対象とした採用試験について、導入の考え方を確認

（未来創造部）

・路線バスにおける外国人運転士の採用に向けた課題と目標値を確認

・北陸新幹線敦賀以西について、福井県として沿線自治体の首長との意見交換等を行っていくよう要望

・若狭湾サイクリングルートについて、ナショナルサイクルルートの指定に向けた進捗状況を確認

厚　　生

清水智信（リーダー）、細川かをり、渡辺大輔、森嘉治、
酒井秀和、堀居哲郎
議会局 議事調査課（和田、村尾、深谷、大久保）

〇令和７年５月１４日

第１回調査　「県政調査チームにおける年間テーマ選定」

・年間を通じて継続的な調査、研究を行うテーマについて協議
・決定したテーマに基づく今年度の取組を協議

〈年間テーマ〉

「原子力・エネルギー政策」

◇使用済燃料対策の状況（乾式貯蔵）、関西電力ロードマップの進捗管理
◇GX 実現に向けた基本方針に基づく施策の具体化
◇2050 年カーボンニュートラル実現に向けた、再生可能エネルギーの導入等、施策の状況

「子ども・子育て応援施策の推進」

◇こども・子育て応援計画の検証
◇令和８年度の「子ども誰でも通園制度」開始に備えた保育人材の確保

〇令和７年６月２５日

第２回調査　「６月定例会常任委員会の論点整理」

・関西電力のロードマップの進捗について、議論
・共創会議の工程表に盛り込まれた地域振興策について、議論
・こども応援サポーターについて、意見交換

〈 ６月定例会 常任委員会における主な議論 〉

（防災安全部）

・使用済燃料について、乾式貯蔵施設からの県外への搬出時期の考え方について確認

・嶺南地域への自衛隊の配備について、国への要望活動はただ継続するだけでなく、具体的なプランを提示するなど工夫する必要があることを要請

（エネルギー環境部）

・国のＧＸ基本方針やエネルギー基本計画の改定を踏まえ、Ｅコースト計画の見直しの必要性を確認

・クマの出没状況等および猟友会の課題について確認

（健康福祉部）

・民生委員について、なり手の確保について確認した上で、制度の抜本改革を国に求めるよう要請

・外国人材を確保するために民間よりも高くなり、施設側の負担となっている監理費について確認

〈 厚生常任委員会　県外視察（令和７年７月２８日～２９日） 〉

（フクオカグロースネクスト　福岡県福岡市）

・福岡市は、市有施設にて国産のペロブスカイト太陽電池による国内最大規模の発電実証を開始し、都市圏での再生可能エネルギーの導入拡大を目指していることから、ペロブスカイト太陽電池について現地調査を実施



（フクオカグロースネクストにてペロブスカイト太陽電池について意見交換）

（玄海原子力発電所　佐賀県玄海町）

・玄海原子力発電所では、使用済燃料の一時保管先として、乾式貯蔵施設の設置工事を施工していることから、使用済燃料の貯蔵対策に係る取組み等について現地調査を実施



（玄海原子力発電所にて乾式貯蔵施設建設予定地の現況等について意見交換）

〇令和７年９月１２日

第３回調査「９月定例会常任委員会の論点整理」

・敦賀２号機や廃炉作業に入ったもんじゅの現状について、意見交換

・敦賀市立病院において４８床が休床するという報道を共有した上で、医療機関の経営難について、意見交換

〈 ９月定例会 常任委員会における主な議論 〉

（防災安全部）

・使用済燃料について、2035 年度末の県外搬出に間に合わなかった場合に乾式から湿式に戻すとする関西電力の方針について確認

・原子力防災訓練の実施について確認

（エネルギー環境部）

・立地地域振興にかかる関西電力の拠出金について、拠出先や公開の有無を確認

・洋上風力事業の現状を確認

（健康福祉部）

・福祉分野における災害対策をより充実させるよう要請

・医師や看護師の確保の取組みについて確認

〇令和７年９月１８日

第４回調査　「パパ・ママ目線の子育て支援に関する勉強会」

・こども応援サポーター２名および子ども応援ディレクターを招いての調査を実施

・県内各地の子育て当事者の現状やリアルな声について意見交換



（パパ・ママ目線の子育て支援について意見交換を行う様子）

〈 厚生常任委員会　県内視察（令和７年１１月２０日） 〉

（おおの天空パーク OSORA）

・大野市は、2025 年 1 月に全天候型の子どもの遊び場 OSORA をオープンさせた。大野市中心部という立地ならではの利点や課題を確認するため、現地視察を実施



（OSORA にて子どもの遊び場の利活用等について意見交換）

（福井大学医学部付属病院高度被ばく医療支援センター）

・福井大学医学部付属病院は、北陸地域で初となる医療支援センターを 2025 年９月に開設した。当センターは原子力災害拠点病院で対応できない専門的な診療や原子力災害医療に対応できる人材育成を担っており、全国最多の原子力発電所が立地している本県にとって、重要な施設であることから、現地視察を実施



（高度被ばく医療支援センターにて原子力災害医療等の取組について意見交換）

〇令和７年１２月１０日

第５回調査「１２月定例会 常任委員会の論点整理」

・関西電力のリプレースに向けた自主調査などの原子力政策を中心に協議

・国が公表したクマ対策パッケージについて、意見交換

・横断歩道の一時停止率が全国ワースト３位になったことを受け、県の施策を協議

〈 １２月定例会 常任委員会における主な議論 〉

（防災安全部）

・六ヶ所再処理工場の竣工見通しを確認し、乾式貯蔵施設設置にかかる事前了解について、議決の有無等を確認

（エネルギー環境部）

・緊急銃猟マニュアルの策定状況やクマの個体数管理について確認

・福井県廃棄物処理計画の骨子案について確認

（健康福祉部）

・嶺南地域の救急医療提供体制について確認

・民生委員について、従来の無償から有償化にすることや世帯数に応じて定数を定める制度を見直すよう国に求めるべきと要請

〇令和８年３月４日

第６回調査「２月定例会 常任委員会の論点整理」

・関西電力の使用済燃料対策ロードマップ、介護事業者や障がい者福祉サービス業者の経営難を中心に協議

・先進事例として、青森県の再生可能エネルギー共生税、茨城県で導入されている救急車の有料化等を紹介

〈 ２月定例会 常任委員会における主な議論 〉

（防災安全部）

・乾式貯蔵施設の設置に向けた事前了解願いの対応として、他の電力会社における乾式貯蔵施設の保管年限の取扱いや、永久保管場所となることへの懸念に対する搬出時期の確認作業、了承判断の方法、貯蔵容量を原則増やさないことの例外の取扱いなどについて確認

・能登半島地震での知見を踏まえた防災計画等の見直しのポイントを確認するとともに、今回のような津波警報による避難指示でも円滑に避難ができるよう計画を周知徹底するよう提言

・災害対応としての自衛隊派遣に関し、地震と大雪など別地域での同時災害発生時の支援体制について確認

（エネルギー環境部）

・能登半島地震による災害ごみの受入体制について確認

・あわら市沖の洋上風力事業に関し、関係者との意見交換会の内容を確認

・次期エネルギー基本計画への県の働きかけを確認するとともに、県としてのエネルギーミックスのビジョンを確認

（健康福祉部）

・医療・介護・福祉人材に関し、人口減少、高齢化の中での人材確保の方針と対策について確認

・ふく育さん、ふく育タクシー、男性育休促進事業等の子育て支援策について、人口減少対策としての効果検証も行いながら実施するよう提言

・保育士確保に向けた処遇改善としての加算制度について、事務負担の軽減などの観点から制度見直しを国に要請するよう提言

産　　業

山本建（リーダー）、笹原修之、三田村輝士、南川直人、福野大輔、三宅わたる、藤本一希（～Ｒ７．１２）、後藤正邦（Ｒ８．２～）
議会局 議事調査課（和田、村尾、石田、前田）

〇令和７年５月１４日

第１回調査　「県政調査チームにおける年間テーマ選定」

〈年間テーマ〉

「県内の観光誘客に向けた取組み」

◇県内観光地やグルメなどの国内外への情報発信・営業強化

◇県内の食・伝統産業を活用したインバウンド向けツアー

「県内の経済振興」

◇トランプ関税への対応

◇人手不足対策、賃上げ・リスキリング、外国人材の活用等による人への投資の推進

◇県内企業の国内外の販路拡大

「農林水産業の活力強化」

◇一次産業の就労者・生産者支援

◇一次産業のＤＸ化（スマート農業等）

◇農産品の国内外の販路拡大

「人口減少対策〔社会減対策〕」

◇関係人口増大に向けた取組、就労支援等の拡充、就労環境の改善

◇他自治体との差別化、優位性に関する情報発信



〇令和７年６月１９日

第２回調査　「６月定例会常任委員会の論点整理」

・トランプ関税への対応、米価高騰等について協議

・先進事例として、ＳＡＧＡアリーナおよびＴＳＭＣ熊本工場について協議



〈 ６月定例会 常任委員会における主な議論 〉

（交流文化部）

・観光について、六呂師の冬の誘客および観光客入込数の現状を確認

・福井アリーナの整備について、民設民営および県支援の在り方ならびに県民意識の醸成を確認するとともに、福井駅東口への車の集中に関して県と市が一体として考えるよう要望

（産業労働部）

・米国相互関税について、県の対応を確認

（農林水産部）

・米価高騰について、酒米およびそばの作付けへの影響を確認

〈 産業常任委員会　県外視察（令和７年８月２６日～２７日） 〉

（栃木県宇都宮市　栃木県庁）

・同県では重点市場への観光レップ活用、受入環境の整備など、インバウンド誘致を進めている。本県のインバウンド対策の参考とするため、栃木県の現状と誘客施策について調査

・観光レップの役割と効果、ＦＩＴ対応、観光業の人手不足対策、食・ゴルフを活用した誘客施策等について意見交換



（栃木県庁　インバウンド対策について意見交換）

（栃木県芳賀町　（株)リブドゥコーポレーション栃木芳賀工場）

・同工場は宇都宮ライトレールの駅近くに位置し、取引先や高校生など一般の方を対象にした工場見学を実施している。本県の公共交通と工場見学を組み合わせた産業観光の可能性について知見を深めるため、工場見学の実施状況、交通手段などについて調査

・工場見学による若者の採用効果、勤務形態への受止め、工場の運営状況等について意見交換



（栃木県芳賀町　工場見学の現状等について意見交換）

（栃木県益子町　（株）環境公害分析センター）

・早生樹キリの植栽状況等について調査し、現地視察



（（株）環境公害分析センターの圃場を視察）

〇令和７年９月１日

第３回調査　「産業技術総合研究所および福井県工業技術センターとの勉強会」

・産業技術総合研究所（産総研）および福井県工業技術センター（工技センター）の取組内容について勉強会を開催

・産総研と工技センターとの連携の在り方等について意見交換



〇令和７年９月８日

第４回調査　「９月定例会常任委員会の論点整理」

・アリーナ構想、米の安定供給等について協議

・先進事例として、ＨＡＰＰＩＮＥＳＳ　ＡＲＥＮＡ（長崎県）について協議



〈 ９月定例会 常任委員会における主な議論 〉

（交流文化部）

・福井アリーナについて、民説民営の在り方、今後のスケジュールならびに県民利用枠および経済波及効果の根拠となる数字の妥当性等を確認

（産業労働部）

・最低賃金について、中小企業に対する支援の具体策および価格転嫁への働きかけを確認

・サンドーム等について、福井アリーナ（仮称）との競合を確認

（農林水産部）

・米づくりにおける水不足について、県内の状況を確認

〈 産業常任委員会県内視察（令和７年１０月１６日） 〉

（福井市　（株)福井ブローウィンズ）

・スポーツを軸とした地域振興の取組や、県民応援チームとしての活動状況、企業連携による地域産業の可能性などについて調査を行うため、地域密着型のクラブ運営を行っている(株)福井ブローウィンズを視察

・今後のプレミアリーグ参入に向けたスケジュールや課題などについて意見交換



（(株)福井ブローウィンズの本社施設の視察）

（あわら市　ふくい園芸カレッジ）

・農業人材の育成や地域農業の振興に向けた取組みおよび現状、今後の課題等について調査するため、県内外からの新規就農希望者が園芸作物の栽培技術や経営・販売までを一貫して学ぶことができる、ふくい園芸カレッジを視察

・研修後の就農支援、農地確保の流れ、奨励金制度など新規就農者確保に向けた県内の支援体制について意見交換



（研修場所の視察）

〇令和７年１２月４日

第５回調査　「１２月定例会常任委員会の論点整理」

・アリーナ構想等について協議

・先進事例として、特定地域づくり事業協同組合（若狭町）について協議



〈 １２月定例会 常任委員会における主な議論 〉

（交流文化部）

・第二次福井県多文化共生推進プラン（骨子案）について、外国人受入れおよび施策体系（安心共生スキーム・活躍共生スキーム・国際化スキーム）の在り方について確認

・美術館の機能強化に関する基本計画（骨子案）について、企画展のスペースおよび改修を契機とした県内全域での展示を確認

・福井アリーナについて、理解促進活動の取組状況、県民の意見および今後の展開等を確認

（産業労働部）

・嶺南の伝統工芸について、県の振興策を確認

（農林水産部）

・いちほまれを核とした福井県産米の産地強化戦略の骨子案について、生産米の品種構成、生産者に対する取組みおよびＰＲ戦略を確認するとともに、酒米についても項目を立てるよう要望

〇令和８年３月４日

第６回調査　「２月定例会常任委員会の論点整理」

・知事の選挙公約、外国人政策等について協議

・先進事例として、外国人向けオンライン日本語教室（山梨県）および中山間地域の関係人口創出のためのマッチングサイト（佐賀県）について協議



〈 ２月定例会 常任委員会における主な議論 〉

（交流文化部）

・第２次福井県多文化共生推進プラン案について、知事からの修正の有無およびＫＰＩの見直しを確認

・福井アリーナについて、県民の不安や疑問への対応、県と市との役割分担および協力関係ならびに債務負担行為の在り方を確認するとともに、現時点で示されている支援規模以上は出さないよう提言

（産業労働部）

・中東情勢悪化に伴う原油価格高騰の影響について、昨今の情勢および今後の支援の在り方を確認するとともに、影響を機敏に捉え注視して、タイミングを計って国に要望するよう提言

（農林水産部）

・いちほまれを核とした福井県産米の産地強化戦略（兼第４次いちほまれブランド戦略）案について、品種構成およびいちほまれの生産量を確認

土 木 警 察

兼井大（リーダー）、野田哲生、山浦光一郎、大和久米登、
時田和一良、山岸みつる

議会局 議事調査課（和田、村尾、青木、高橋）

〇令和７年５月１４日

第１回調査　「県政調査チームにおける年間テーマ選定」

〈年間テーマ〉

「国土強靭化対策について」

◇道路整備の進捗状況

◇水道管の耐震化、長寿命化

◇河川、ダム、海岸における流域治水対策

◇木造住宅の耐震化　など

「交通安全対策について」

◇信号機のない横断歩道での一時停止率向上

◇自転車安全運転の対策

◇チャイルドシート着用率向上

「詐欺対策について」

◇特殊詐欺対策

◇闇バイト対策



〈 土木警察常任委員会　県内視察（令和７年６月２６日） 〉

（大野市　国道 158 号斜面崩壊箇所）

・３月に斜面崩壊により通行止めとなっている国道 158 号の斜面崩壊箇所状況と仮設道路進捗状況を視察

・本道路復旧や仮設道路開通の対策工事方法や開通時期等について意見交換



（斜面崩壊箇所の視察）



（仮設道路の視察）

（大野市　中部縦貫自動車大野油坂道路）

・３月に開通時期が３年遅れの令和 11 年春となったことを受け、課題発生の背景や工事の進捗状況確認のため現地調査を実施

・工事課題箇所となっている新子馬巣谷橋橋脚部のケーソンの沈下不能および蛇紋岩によるのり面の崩落について意見交換



（課題箇所の新子馬巣谷橋の視察）

〇令和７年６月２５日

第２回調査　「６月定例会常任委員会の論点整理」

・盛土規制法による規制区域指定、上下水道管等のインフラ整備、詐欺対策、信号機のない横断歩道での一時停止率などについて協議
・委員会の県内視察を踏まえて、国道 158 号斜面崩壊、中部縦貫自動車道大野油坂道路の開通延期について協議

〈 ６月定例会 常任委員会における主な議論 〉

（警察本部）

・詐欺対策について、ターゲットを絞った対策になっているのか確認
・信号機のない横断歩道での一時停止率向上に向けて、石川県の事例を紹介し、さらなる対策を要望

（土木部）

・国道 158 号斜面崩壊について、復旧や仮設道路整備の目途を確認するとともに、中部縦貫自動車道大野油坂道路への影響を確認
・一日も早い国道 158 号の復旧と中部縦貫自動車道大野油坂道路の開通を要望
・盛土規制法施行にあたり、法律の運用や県内の危険な盛土の有無を確認
・水道管破裂が全国的に発生していることを受け、県内の状況を確認するとともに、古い水道管を早めに更新するよう要望

〇令和７年７月２４日

第３回調査　「福井空港再整備に関する勉強会」

・福井空港再整備に向けた他県の空港の概要について、勉強会を実施

・福井空港ビル再整備に向けて、参考とした他県の空港の概要の説明を受け、今後の福井空港の可能性について意見交換



（福井県議会　他県の空港の概要に関する説明の様子）

〈 土木警察常任委員会　県外視察（令和７年８月７日、８日） 〉

（沖縄県　みやこ下地島空港ターミナル）

・パイロット訓練施設やプライベートジェット専用ターミナルなど最新の空港設備を備え、観光振興と地域活性化のモデルケースとして注目されている下地島空港を調査

・福井空港再整備のための参考とするため、観光、ビジネス、地域利用などについて意見交換



（みやこ下地島空港ターミナルの概要について調査）

（沖縄県　宮古島警察署）

・昨年度、観光客数が過去最多を更新した宮古島市について、交流人口増加に伴う治安情勢について調査

・福井県も北陸新幹線開業やインバウンドにより、今後交流人口の増加が予想されるため、交流人口増加に伴う対策について意見交換



（宮古島警察署にて交流人口増加に伴う対策について意見交換）

〇令和７年９月12日

第４回調査「９月定例会常任委員会の論点整理」

・道路整備プログラムの進捗状況、建設業の担い手確保対策、上下水道管等のインフラ老朽化対策、観光客の交通安全対策等について協議
・先進事例として、三重県津市の土木職採用に高校推薦枠を設けることを紹介し、人材確保対策ついて協議



〈 ９月定例会 常任委員会における主な議論 〉

（土木部）

・埼玉県八潮市の陥没事故を受けた国の下水道管の重点調査について、県内の調査の進捗状況を確認
・建設産業の担い手確保に向けたミャンマーで開講する「福井クラス」の概要について確認
・県の公共工事の発注時期について、平準化を要望するとともに、夏の猛暑時期は工事の中止時期を受注者が定めることができるよう検討することを要望

（警察本部）

・釣り客などの九頭竜川の水難事故の状況を確認するとともに、宮古島警察署での県外視察を参考に、ライフジャケットの着用促進策について提言
・外国人による交通事故の状況を確認するとともに、交通安全対策や治安対策など外国人に特化した分析・対策を要望

〈 土木警察常任委員会　県内視察（令和７年１１月６日） 〉

（福井市　警察学校）

・近年インターネットを使った犯罪の増加、窃盗や詐欺などの手口が多様化する中で、採用以降の警察学校での教育プログラムの変化や対応状況について調査

・警察学校での教育・訓練内容や制度、実習、生活環境について、意見交換



（警察学校の概要調査）

（池田町　足羽川ダム）

・昭和 58 年から工事を開始し、令和 11 年度に完成予定となっている足羽川ダムの事業進捗状況を調査

・足羽川ダム事業の進捗状況、洪水調整のしくみ、試験湛水計画および地域振興策について意見交換



（足羽川ダムの進捗状況について意見交換）

〇令和７年１２月１０日

第５回調査「１２月定例会 常任委員会の論点整理」

・県警の警視によるハラスメント対策、自転車青切符導入、福井駅西口地下駐車場の利用推進、雪害対策、建設業界の担い手確保対策について協議

・先進事例として、国土交通省の地域インフラ群再生戦略マネジメント全国展開の取組内容について協議



〈 １２月定例会 常任委員会における主な議論 〉

（警察本部）

・県警の警視によるハラスメントについて、加害者処分に至った経緯と県警のハラスメントに関する相談窓口について確認

・県警のハラスメント相談窓口を外部にも設置することや全職員を対象とした一斉調査実施を要望

（土木部）

・大雪時の北陸道と国道８号の同時通行止めについて、今年度の実施方針を確認

・福井駅西口地下駐車場の運営について、月極駐車用を一定増やすなど指定管理者と協議することを提言

〇令和８年３月４日

第６回調査「２月定例会 常任委員会の論点整理」

・インフラ施設の広域連携による維持管理、信号機のない横断歩道での一時停止率向上に向けて、高齢者免許自主返納の伸び悩みに対する対策、詐欺対策、福井空港再整備事業、建設産業の担い手確保策、県警内のハラスメント対策等について協議

・先進事例として、滋賀県のアプリ音声での交通事故発生地点お知らせによる交通安全対策について協議



〈 ２月定例会 常任委員会における主な議論 〉

（警察本部）

・FUKUI SAFETY PROJECT の事業内容を確認するとともに、高齢者の運転免許返納の促進策として、サポカー限定免許取得とサポカー購入支援をセットにした事業を提言

・知事部局のハラスメント条例への県警の関与や県警内のハラスメント対策について確認

（土木部）

・建設産業担い手育成事業について、事業成果を確認するとともに、福井クラス実績と今後の方向性を確認

・福井空港整備の基本設計について、周辺の地元住民の意見を広く取り入れることを要望

・国道１５８号の復旧完了について、時期を確認